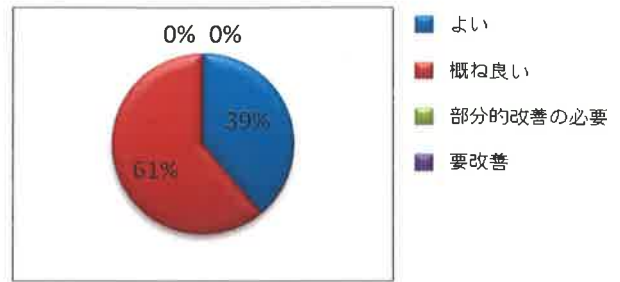
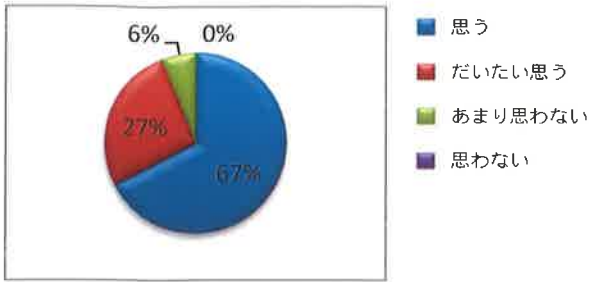


# R02 学校自己評価 中間報告(1学期・全校児童・職員)

## 1 学校満足度

(1) 学校は楽しいですか。(児童)

(1) 子どもたちが楽しく学校生活を送れるよう  
様々な面で配慮をしていますか。(職員)

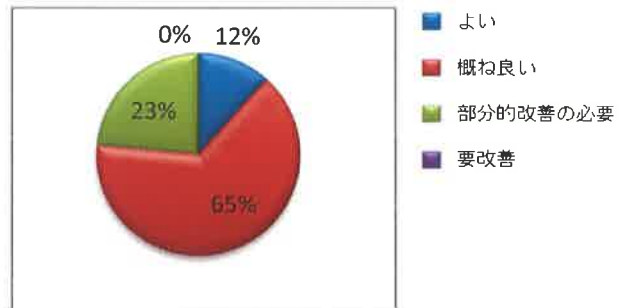
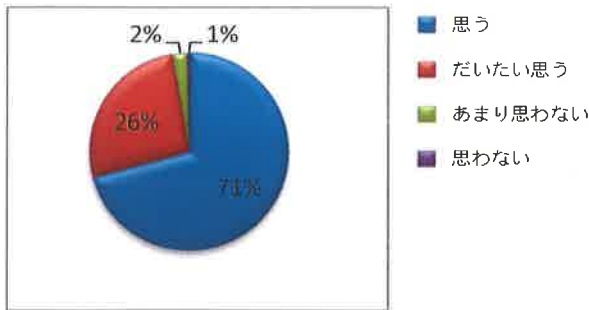


### 【考察】

全校児童の3分の2が「学校が楽しい」と答え、「だいたい楽しい」も含めると、94%の児童が学校を楽しく感じている。ただし、学校をあまり楽しくないと感じている児童が6%（15名＝平均すると学級に1名）いることも心に留め、改善にあたりたい。

(2) 先生は勉強を分かりやすく教えてくれますか。  
(児童)

(2) めあてをはっきりと提示し、友だち同士の関わり合いを  
工夫し、まとめの時間をとる努力をしていますか。(職員)

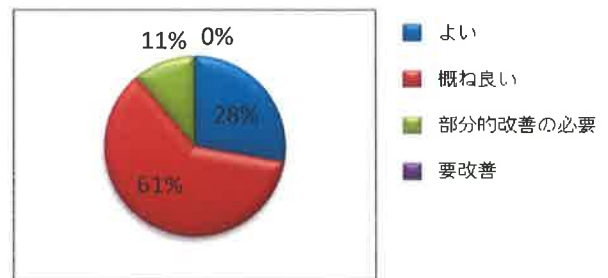
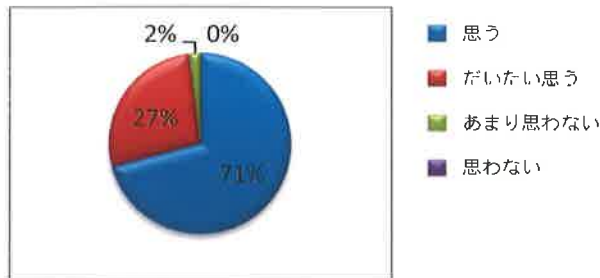


### 【考察】

昨年度に引き続き、「授業がわかりやすい」と感じている子の割合が高い。職員一人一人がUD化を心掛けていることによる成果が見られているか。

(3) 先生は、困った時に相談に乗ってくれますか。  
(児童)

(3) 日頃から子どもたちに声をかけたり、保護者との連絡をこまめにし、  
子どもや保護者に寄り添いながら相談しやすくしていますか。(職員)

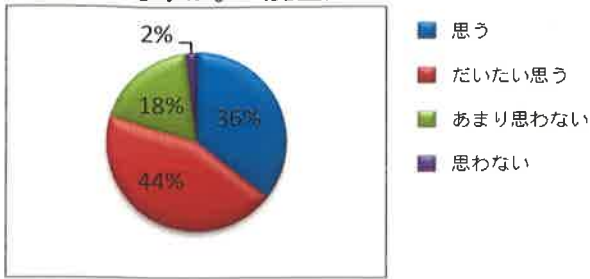


### 【考察】

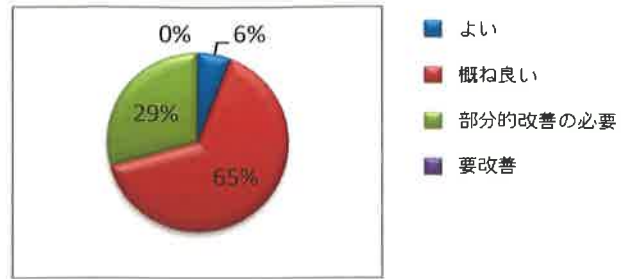
「困ったときは先生が相談に乗ってくれる」と、多くの児童が教師への信頼を寄せていることがわかる。そう感じていない子たちの把握と、ケアやフォローを心がけるようにしたい。

## 2 学習

(1) 学習に進んで取り組み、自分の考えを友だちに伝えていますか。(児童)



(1) 子どもたちが学習に意欲的に取り組み自分の考えを持ち、その考えを伝え合う場を設定していますか。(職員)

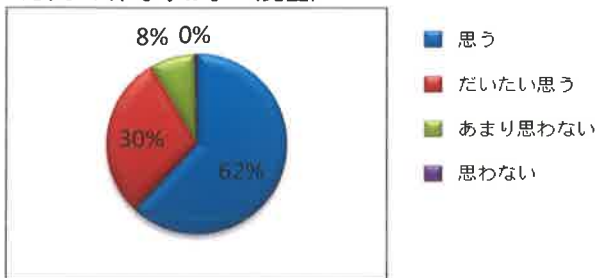


### 【考察】

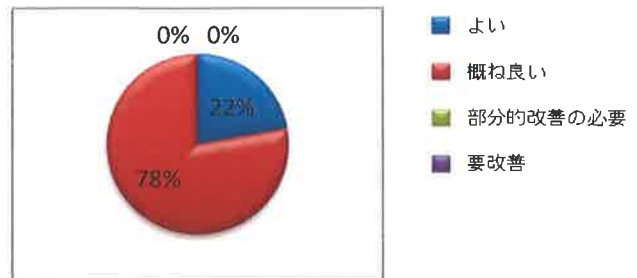
他の質問事項に比べると、自信をもって前向きな回答をする児童の割合が低い。コロナによる「考えを友だちに伝える場面の減少」によるものなのか、「学習に進んで取り組む」こと自体への自信のなさなのか、今後の推移に注目したい。

## 3 自尊心

(1) 先生や友達は、頑張っていることを褒めたり励ましたりしてくれますか。(児童)



(1) 子どもの努力を教師自らが認め、励ますと共に、子ども同士がそれぞれの努力を認め、励まし合える環境を作っていますか。(職員)

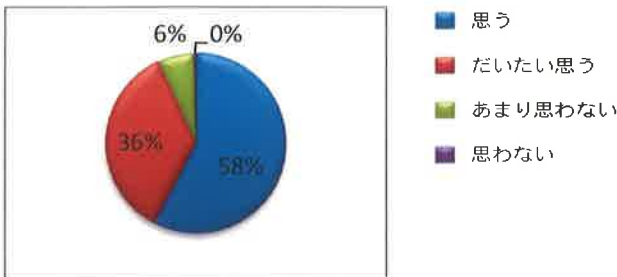


### 【考察】

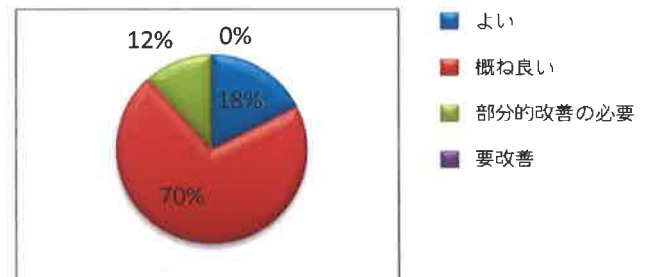
多くの児童が、褒められたり認められたりしていると感じている。自己肯定感の伸長につながっていると思われる。ただし、あまりそう感じていない児童も8% (21人) いることも心に留め、お互いがより認め合うことができる集団作りが心がかたい。

## 4 心と体

(1) 学習や運動で最後まで諦めずに取り組んでいますか。(児童)



(1) 学習や運動で、最後まであきらめずに取り組めるようにしていますか。(職員)

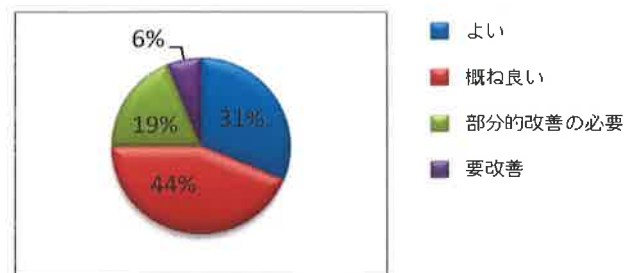


### 【考察】

多くの児童が「自分がんばっている」という実感を持っているようである。

## 5 地域との連携

(1) 地域講師の支援により、ふるさと体験学習を充実させていますか。(職員)



### 【考察】

コロナの影響で、例年に比べて地域の方にかかわっていただく場面が少なかったが、その中でも農作業関係や水泳指導等、徐々に支援に入っていただくようになってきている。可能な限り、広げていきたい。

## 6 職員の声

### 【学校満足度にかかわって】

#### 〈授業改善の視点から〉

- ・ きめ細かな指導をされている先生が多い。
- ・ 算数や国語では、授業の型を示しながら、児童に見通しをもたせた。
- ・ 1時間の流れをいつも同じパターンにしている。まとめも、子どもたちの言葉を使うようにしている。
- ・ 1週間の1時間しか子どもに会う時間がないので、「今日も楽しかった」と思えるよう授業改善をしている。(音楽)
- ・ 1人歌いをみんなで聴き、応援する場を設ける。学習の始めにやることを示す。(音楽)
- ・ 子どもの言葉を大事にし、子ども同士の考えをつなげて授業を進めるように努力した。
- ・ その都度全員の机を回り、つまづきや理解の様子を把握し、必要に応じ支援した。個に応じたやる気のもたせ方を工夫した。
- ・ ワークシートを拡大して共有し合うなど、認め合える機会を作れた。
- ・ 子どもたちが意欲的に取り組めるよう、子どもたちの話ができる時間を確保していく。
- ・ まとめや振り返りを行う時間が慌ただしくなったり短かったりするので、改善したい。
- ・ 発言を付箋に貼る等、全員発言を目指している。
- ・ 学習や運動など課題が最後まで取り組めるよう支援している。

#### 〈保護者・地域との連携の視点から〉

- ・ 保護者用の連絡帳を毎日チェックしているが、電話連絡までは配慮されていない。
- ・ クラス替え休校があった中、お家の方に支えていただき子どもたちも楽しめてきている。
- ・ 学級通信で、子どもたちの良さや担任の考えを伝えるようにしている。

- ・日頃から保護者との連絡をよく取るよう心がけている。
- ・保護者との連絡をこまめにとり、学校の様子を伝え、歩調を合わせて子どもの指導にあたれるようになった。
- ・すぐり体験や交流ができ、とてもよかった。

#### 【新型コロナウイルス対応に関わって】

- ・学校全体が落ち着いている。
- ・コロナの影響を受けながらも、やれることに挑戦できている。
- ・いつも通りの学習が難しい中、それぞれの先生方の工夫が光っていると思う。
- ・制限のある中でも、総合や体育、書写など講師の先生に支えられて学習を進められることがありがたい。
- ・地域との連携に関して、本年度に限っては難しい。来年度に向けて評価内容そのものの見直しが必要。
- ・ソーシャルディスタンスの観点からグループ学習を控えていて、難しさがある。
- ・子ども同士のつながりがどうしても希薄になってしまい、深まらないことがある。
- ・コロナ禍での塩田西スタイルの実践をさらに工夫していきたい。